

やしお de まなぶ

令和 5 年度



家庭教育学級事業報告書



R06.01.30 「親の学習」潮止小

はじめに

- 1 各学校の開設講座一覧
- 2 項目別講座内容及び参加人数
- 3 家庭教育学級の担当になって
- 4 講座に寄せられた声
～ 各講座の受講後の感想より ～

八潮市教育委員会社会教育課

はじめに

今年度、5月12日（金）にメセナ集会室において、家庭教育学級委託説明会を開催した。説明会を受け、受託した学校・PTAは6校であった。

受託に至らない学校・PTAでは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業の自粛傾向が続くとともに、各PTAの組織の改編が行われ、家庭教育学級を担っていた専門委員会が無くなるなど、受け皿となる体制が大きく変わりがつつあることが要因となった。

受託した6校では、6月より開講式及び人権講座を実施し、9月29日（木）に実施した合同講演会には、市民講演会として他のPTAからも多くの参加者があった。今後、PTA組織の変化に対応しながらも、家庭教育の振興を図るために、よりよい形の家庭教育学級の充実を目指していく必要がある。

以下、開設講座の内容及び実施状況をとりまとめ、令和5年度の家庭教育学級振興事業報告書とする。

1 各学校の開設講座一覧

校 名	学習主題	学 習 内 容	講 師 等	実 施 月 日
八 條小学校		「本年度は、契約せず。」		
潮 止小学校	子どもの成長を応援する子育て	1. 開講式・人権教育講座 2. 合同講演会 3. 地域の産業 中止 4. 閉講式・親の学習「テレビやゲームの時間を減らそう」	大重 育三 氏 佐々木成三 氏 木下 史江 埼玉県家庭教育アドバイザー	6/09 金 9/29 金 11/30 木 1/30 金
八 幡小学校	子どもの成長を応援する子育て	1. 開講式・人権教育講座 2. 合同講演会 3. 出前講座 中止 4. 閉講式・「親の学習」 「テレビやゲームの時間を減らそう」	大重 育三 氏 佐々木成三 氏 木下 史江 埼玉県家庭教育アドバイザー	7/07 金 9/29 金 11/ 12/05 金
大曾根小学校	子どもの幸福な成長を支援する	1. 開講式・人権教育講座 2. 合同講演会 3. 「親の学習」 「分かりやすく」伝えて！ 吉川なつ子 埼玉県家庭教育アドバイザー 4. 閉講式・校長講話	大重 育三 氏 佐々木成三 氏 須賀裕之 校長	9/13 水 9/29 金 11/22 水 1/16 火
松之木小学校	子どもも親も共に成長する子育て	1. 開講式・人権教育講座 2. 合同講演会 3. りらーと八幡見学 中止 4. 閉講式・「親の学習」 「家庭での学習習慣を定着させるには？」	大重 育三 氏 佐々木成三 氏 籠倉 正美 埼玉県家庭教育アドバイザー	7/05 水 9/29 金 11/ 1/23 火
中 川小学校		「本年度は、契約せず。」		

校 名	学習主題	学 習 内 容	講 師 等	実 施 月 日
八條北小学校	子どもの成長を応援する子育て	1. 開講式・人権教育講座 2. 合同講演会 3. 閉講式・「親の学習」 「子供のほめ方、叱り方」 本多 床里 埼玉県家庭教育アドバイザー	大重 育三 氏 佐々木成三 氏	6/22 水 9/29 金 12/13 水
大 瀬小学校	「本年度は、契約せず。」			
大 原小学校	「本年度は、契約せず。」			
柳之宮小学校	豊かな心で子供の成長を応援する子育て	1. 開講式・人権教育講座 2. 合同講演会 3. 「親の学習」 中止 4. 閉講式・校長講話 「これからの学びについて」	大重 育三 氏 佐々木成三 氏 鈴木 智雄 校長	7/ 3 月 9/29 金 11/ 1/31 水
八 潮中学校	「本年度は、契約せず。」			
大 原中学校				
八 條中学校				
八 幡中学校				
潮 止中学校				

2 項目別講座内容及び参加人数

項 目	内 容 概 要	のべ人数
家庭教育	○合同講演会 財産といのちを守る最新のボブ半マニュアル 元埼玉県警 捜査第1課警部補 佐々木成三 氏 ○校長講話「家庭教育と学校教育」など ・大曾根小 須賀裕之 校長 ・柳之宮小 鈴木智雄 校長	51名 19名
人権問題	○人権教育講座（6校6講座） 社会教育指導員 大重 育三 氏 テーマ『周りから見えにくい障がい・生きづらさ』 ～人権啓発ビデオ「あなたの笑顔がくれたもの」の視聴を通して～	68名 (含 学校 職員4名)
親の学習	○2-⑦「子どものほめ方、叱り方」（八條北小） 本多床里アドバイザー ○2-⑪「テレビやゲームの時間を減らそう」～家族と触れ合うために～ （八幡小）（潮止小）木下史江アドバイザー ○学習支援プログラム B-1『どう育てるの？子供のやる気と根気』 ～楽しく家庭学習を進めるために～（松之木小） 籠倉正美アドバイザー ○学習支援プログラム E-4 「分かりやすく」伝えて！ ～我が家流 子供のサポートの方法～（大曾根小） 吉川なつ子アドバイザー	47名

○受講者のべ人数 185名 ○開設講座総数 19講座 平均 9.7名
（昨年度 410名） （昨年度 39講座 平均10.5名）

3 家庭教育学級担当になって（本年度のまとめと反省から）＜抜粋＞

- 今年度よりPTA組織の縮小により担当の委員会が存在しない状態となっはいるものの、家庭教育学級については昨年に引き続き開講させてもらいました。少しでも多くの保護者に参加してもらえよう発信の仕方や内容を工夫して取り組んできました。参加した保護者からは、最初は参加することに迷いがあったが、参加してみたら勉強になりましたという声を聞くことができ、うれしく思っています。

今年度は、人権、いのちを守る、コミュニケーション、そして学校との連携による子どもたちの実態把握など、教育の分野では必要不可欠な内容で開催してきましたが、講師の方のお力のおかげで大変多くの学びとなりました。この学びを実際の家庭教育におきかえて実践し、子どもたちの成長を支援する保護者の役割を果たしていきたい所存です。

一方で課題としては、開催を主催する「運営側」のなり手不足があげられます。実際の開講までの「実施計画」「保護者への通知」「講師との打ち合わせ」「当日の運営」「報告書の作成」など、初めて取り組む方には少しハードルが高い内容となっています。役割分担していけば実現可能ですが、ボランティアとしての活動の中で自分が慣れていないことや苦手なことがあると、ストレスになるのも事実です。どのようにすれば保護者が自ら家庭教育学級を開催したいと考えるか、PTAとしても行政としてもその実施方法については検討していく必要があると考えます。

今年度、本校で発足したボランティア団体の理念は、できる人が、できることを、できる時に、できる分だけ行うというものです。負担のないボランティア活動が、内発的に動機づけられた保護者の方たちの力で主体的に行われることを願っています。

- 委員の皆さんの協力のおかげで、無事に活動を終えることができました。

人権講座では、わかりやすく話をしてくださり、ビデオ視聴もあり、とても学ぶことができました。合同講演会では、防犯について、改めて気を付けていかなければいけないと感じました。校長先生の講話では、学校の取組みや子どもたちの様子、今後のことについて、お話をいただきました。

大変お世話になり、ありがとうございました。

- 本年度は、コロナ明けで講座を受ける人数も、コロナ中はPTA役員のみでしたが本年度は他の保護者も10名に限定してですが参加することが出来ました。ですが参加した保護者からお話を伺いたい、参加してみたいと言って下さる保護者もいらっしやったので、教育委員会主催の家庭教育学級の案内を出して欲しいと思いました。

合同講演会の講演内容、日時、講師の案内は、参加者名簿の提出期限、保護者への参加案内、出欠の確認を考えて、夏休み一週間前に出すのはやめてください。夏休みを挟むと出欠の提出を忘れて、講座に参加できず、とても良い講座内容なのにもったいないと思います。

今年度は、家庭教育学級担当だったPTA委員会がなくなってしまい引き継ぎが全く出来ず、手探りで運営でしたが無事におわり良かったです。

- 今年度も無事に3回の家庭教育学級を開催することが出来ました。

何も分からないまま学年文化部長になり、不安な事ばかりでしたが、大重先生をはじめ、校長先生、教頭先生、部員の皆様に助けられ、私自身とても良い経験となりました。至らない点もあったかと思いますが、1年間ありがとうございました。

大人になると勉強したり、講座に参加したりするような機会も減ってしまうので様々な講座に参加することが出来、まだまだ知らないことがあると気づきました。普段気にかけることのない“人権”については、子どもたちと一緒に学び、大切さを伝えていかなくてはならないと考えさせられました。また、保護者同士の関りが持てる良い時間にもなりました。

部員以外の保護者の方々にも沢山参加してほしかったのですが、なかなか難しいようでした。また、私個人の意見ですが、様々な手続き、書類の作成をもっと分かりやすく簡単なものにして欲しいと思いました。外国籍の方も多いのでややこしいのは大変だと思います。どの方が携わることになっても対応しやすいものになると思います。

来年度は、どのような形になるか分かりませんが、私で力になれるのであれば引き継ぎなどを積極的に行い、より良いものにしていきたいです。

4 講座に寄せられた声 ～受講後の感想より（抜粋）～

《人権講座》

テーマ『周りから見えにくい障がい・生きづらさ』

～人権啓発ビデオ「あなたの笑顔がくれたもの」の視聴を通して～

- DVDを見て初めてオストメイトという言葉を知りました。「周りから見えにくい障がい、生きづらさ」が、こんなにあるなんてびっくりしました。

私には、17歳、9歳、4歳、3歳と4人の子どもがいます。下の2人は、年子なものもあり、夫が出張も多く、長女に赤ちゃんを見てもらい、お風呂に入ったり、買い物に行くなどもお願いしたりしたことがあったので、長女も「ヤングケアラーだったか？」とドキッとしてしまいました。

甥っ子は自閉症で、友人の子は車イス、私の従姉妹も身体障がいなのですが、その障がいの様子は、見た目では分かります。今日のように、他人に言えず、心の苦しさ、大変さを抱える人もいるんだと分かったので、言葉がけや人との関わりも、少し変えようと思いました。

今日は、仕事を休んで参加して良かったです。ありがとうございました。

- 本日の講座に参加したことで名前だけは聞いていた、なんとなく知っていた事がよく知れて良かったです。「オストメイト」は多目的トイレで名前を見かけたり、洗面台がある2種類設置されているのはなぜなのか気になってはいましたが、今まで知る機会がありませんでした。

「人権」とは何か？についてとDVDの内容もそうですが、自分と違う考え方や見た目、目に見えない部分で違っていることに対し、そのことを大事にする（相手の気持ちを考え、大切にすること）というのを子どもに伝えていきたいと思いました。子ども自身は純粋で自分と違う人を見てもそんな偏見は持っていないのに、身近な人、親などの反応や言葉で影響を受けてしまうのではないかと考えているので、子どもと話すときには、その点に気を付けて考えて言葉にしようと心がけてきましたが、今日からより一層考えて言葉にしようと思えました。本日は、ありがとうございました。

- トイレから美織が出てきたシーンで、自分が嫌な気持ちになったのを後から反省しました。自分の父が腎臓病で現在人工透析を受けています。一応障がい者認定されていますが、特にそれに対して何か思うことなく、単に生活スタイルが自分と違うだけだと思っていましたが、それが無関心からきているものなのだと感じています。もっと話を聞いてみようと思いました。本日はいい機会をありがとうございました。
- 自分には、6歳になるダウン症の娘がいます。正直、娘が生まれるまで障がいって言葉とは無縁だなと感じていた自分がいました。娘が生まれてから障がいについて考えるようになり、意識できるようになった自分がいます。娘の病院、リハビリとかでいろんな障がいを持った子をたくさん見てきました。本当に一人ひとり笑顔が素敵な子がいて、みんな普通の子と変わらないなと考えさせられました。
- 本日の会へ参加させて頂き、ありがとうございました。正直はじめはどのような事をするのか分からずにいましたが、先生のお話の内容からビデオ内容まで、とても自分自身のためになり、お勉強になりました。

実は今春から入学した娘は、生まれつき腎臓が片方しかありません。そして今動いてくれている腎臓も70%くらいしか機能してくれていません。さらに入学前に発達障がいを疑われ、現在いろんなトレーニングをしながら検査などを行っています。決めつけずに何ごとも一歩ずつ娘と話し合いながら育てていこうと改めて考えさせられました。
- 『オストメイト』『ヘルプマーク』等、知識としてぜひみんなが身につけておく必要があるだろう。残念ながらこれらは今日まであまり関心がなかったが、学校教育の中でこういう授業があれば意識する事が出来たであろう。高学年及び中学年等にこの内容の授業を受けさせる事は大変有意義であり、もはや必須であろうと思われる。こういう教育を受けてない成人については、この内容を周知していく活動はなかなか手段が難しい。だからと言ってPTA役員を集めて無理やり見せるのもどうかと思うが、ある程度強制されないとこの類の映像を見るのは厳しい。そう考えるとこの少人数の集まりでもこの映像を見せる草の根的な活動もなかなか難しい取り組みであり、もう少しうまい方法はないのか議論は必要であろう。
- 私は人権講座を受けるのが2回目となります。自分を見つめなおす本当にいい時間を過ごせました。人権とは何か？子どもに聞かれても、何となく答えていたのですが、今ならもう少しだけ子どもとしっかり向き合って話せる気がします。

「オストメイトマーク」それまで全然知らない言葉でした。子どもと普段行くドラッグストアのトイレに、このマークがある事にふと気づきました。こういう機会がなければ気付かなかったことに気付かせてくれたこと、感謝します。

ぜひこのようなDVDを子どもたちに見せる機会があれば子どもと参加させていただきたいなと思っています。ぜひよろしくお願いします。
- テーマが人権ということで、少し硬い感じの講座になるのかなあと感じていましたが、講師の先生の優しく温かい雰囲気から受講していて受け取りやすかったですし、学びになる事がたくさんありました。私は、福祉関係の仕事をしています。「みんな違ってみんないい」という言葉がありますが、本当にそうだと思います。人によって見え方や受け取り方は様々なので、一人ひとりを比較せずにと、常日頃考えながら働いています。ビデオを観て、新しい発見もあり、日々勉強だなあと感じました。これからも人の気持ちを考えながら過ごしていけたらと思います。今日は、ありがとうございました。

《親の学習》

テーマ：「テレビやゲームの時間を減らそう」

- 本日は、有意義な時間をありがとうございました。目の前に見える問題として、本日のテーマであるテレビやインターネットにまつわる問題は、もちろん深く多岐に渡り存在するものですが、それよりも日々における“対話”を大切に・・・“親子の絆”を日々紡いでいくことが何よりも大事であることに気付かせていただきました。
- インターネットの話からたくさんの子育てについてのことを学びました。子どもとの対話・・・、出来ているようで出来ていなかったなと思います。親子で日常当たり前になっているインターネットの危険やトラブルについての話を、そして「ルール」をしっかり話すことの大切さを学びました。子どもをしっかりほめて、信頼関係を高めようと思います。ありがとうございました。
- 日々の困りごとのゲーム時間・・・今日話を聞いて頭ごなしに言うんじゃないくて、対話して工夫していくのが大事なんだと学びました。その他、とても参考になり、今後の子育てに役立てたいと思います。
- スマホやゲーム機の使い方を改めて子どもと話してみようと思いました。「何で？何で？」と言いがちでしたが、子どもとの関わり方も改めて考えようと思いました。
- 今日はありがとうございました。なかなか考えることが出来なかった事も今日はとてもいい勉強になりました。子育てには、答えがないのかも？かもしれませんが、今日学んだ事を実践してみます！また機会がありましたら宜しくお願いします。
- 今まで考えなかった様な事もあり勉強になりました。今回を期に子供との向き合い方も考えてみようと思います。
- 初めて受講したのですが、講師の方のお話も興味のある内容ばかりですごくタメになりました。ありがとうございました。子供たちともっと話す時間を作りたいと思います。
- とても子どもについて考えさせられる、とてもとても良い時間になりました。大人になると子どもの頃の気持ちが知らなく（忘れて）しまうので勉強になりました。家に帰ったら子どもとの時間を大切にしたいと思います。共感する気持ち大切ですね！今日はありがとうございました。

《親の学習》

テーマ：「分かりやすく」伝えて！

- 娘も自己主張が強くなり、ぶつかることが多くなってきました。ただ今日の講座を受けて、今まで以上に娘の価値観や性格を尊重してやる必要性を感じました。他者の価値観を尊重することは簡単ではありませんが、自分が娘に対してそうすることで、娘もそういう人間に育ってくれればと強く思いました。他者も自分も大切に自己肯定感を高めてくれればいいです。ありがとうございました。
- 「なるほど～当たってる！！」と簡易診断を受けて感じたことでした。見せたい自分、本当の自分も出ているような気がして“色”と一言で言ってもとても深いし、自分の心の内を覗かれた感じで恥ずかしくなりました。家族で一緒に診断をして、関り方を考えていければと思いました。
- いつも怒りすぎてその度に反省することを繰り返すことが多いので、子どものためにも自分のためにも子どもに自分の気持ちを押し付けすぎず、子どものタイプを考えて尊重して子育ていこうと改めて思いました。

- 自分の思い通りにならないとイライラしてしまう自分が嫌で、少しでも変えたいと思い受講しました。やはり長女とは反対だったので、だからケンカが多いのかと納得しました。私の気持ちもしっかり伝えつつ、相手の気持ちを大切にしたいと思います。
- 今回カラータイプによるコミュニケーション力というテーマを聞いた時、大変興味を持ちました。日頃子どもと接する時には、自分のカラータイプである赤やオレンジなどの「決断」をベースに言葉で伝えていたということに気付きました。しかし、必ずしも我が子は「決断」タイプとは限りません。そこを大人が理解しないといけないなと思いました。逆にお互いのカラーを理解すればコミュニケーションがスムーズに進むと思いました。本日学んだ事を生かして会話を大切に子ども達と絆を深めていきたいと思いました。

《親の学習》 テーマ：「子供のほめ方、叱り方」

- すごく楽しい学習会でした。日々、子育てがすごく大変だなと思ってたけど、今日の学習会に参加して、いろいろ子育てについて悩んでいたのですが、すっきりしました。今日からまた頑張ろうと思いました。
- 子どもとの関わり方を改めて考えることが出来ました。これから思春期の長男との関わり方も色々気を付けていることは決して間違いじゃなく良いことだと言って下さり安心しました。二男とも今のままでよいことも安心しました。子育ては十人十色ですが、その子に応じたほめ方も声かけも変えてみることも必要なんだなあと。学校の先生も味方につけて子育てをしていいんだと知り、先生にもどんどん我が子のことを聞いていこうかと考えも変わりました。今日の講話のスタイルも新しい形で、すごく楽しくて時間があっという間でした。家に帰ったら子どもをぎゅーってしてあげたいと思います。
- 楽しい会話でした。今回の学習を通じていろいろないい育て方を勉強しました。三人の子供がいるからこそもっと楽しいママになりたいです。楽しいママになって楽しい子ども達を育てましょう。
- みんなで楽しくお話ができる会で、とてもいい時間を過ごせました。なかなかこういう機会も無いので、沢山の方に参加していただきたいなとも思いました。とりあえず、まず今日は子どもにイライラせずしっかり向き合ってみようと思います。一人の人間として接していくことの大切さを感じました。
- 子どもは「やれ」というとやらなくなる。子どもは心の底ではやらなくてはいけないことを分かっているけど、親には気持ちを分かってもらいたい。子どもの興味を持っているものにまず関心をもってあげるとスムーズに進めることが出来る。脳は主語が分からないから否定の言い方で伝えるのではなく、寄り添う言葉をかけてあげる（言葉を発したものは自分に返ってくる）先生に学校での様子を聞きながら家での状況を話して、より良い子に育つよう協力していく。説明するときには必ずなぜかを伝える。言い過ぎた時には「さっきはごめんなさい」ときちんと伝える。親から目線ではなく対等に接するといいい親子関係が築ける。子どもから教えてもらうことをたくさんやって自己肯定感や自信を高めるチャンス、忙しいときにおこる言葉が短くなる。叱った後にも「自分は大切にされている」と伝わるように接する。



やしお de まなぶ